

社会活動報告書

[活動期間 2014.1.1-12.31]



SHIMANO

社会活動報告書 発刊にあたって



企業活動と社会への貢献を対峙する意味でとらえた時代はすでに過去のものとなりました。

企業それぞれが、自らの事業を健全に運営し、企業と社会の共有価値を創造することこそ、社会への継続的な貢献につながる時代を迎えています。

当社は長年にわたり、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する」を使命として事業を展開してまいりました。

日々の企業活動を通してその使命を実現するために、
こころ躍る製品の開発、新たな価値を効率的に生み出す製造力の改革、
そして業界全体の価値の向上を目指して自転車文化・釣り文化の高揚に取り組んでいます。

これからも自ら果たすべき役割を忘れず、一生懸命に、企業と社会の共有価値を楽しく、
こころ豊かに創造し続ける「価値創造企業」として日々の活動を行ってまいります。

本報告書が、当社の志をご理解いただく一助となれば幸いです。

株式会社シマノ
代表取締役社長
島野 容三

- 社会活動報告書 発刊にあたって 3
- 企業価値の向上を目指して 4
 - こころ躍る製品を
 - 社員の健康増進
 - シマノを支えるひとづくり
- SHIMANO Cycling World
 - LIFE CREATION SPACE OVE(オーブ)
 - 自転車博物館 サイクルセンター
 - フィッシング・カフェ プロジェクト&シマノTV
 - その他の活動
- 環境を考えた新工場
 - シマノグリーンプラン
 - 身近な環境に対する取り組み
 - 環境負荷低減への取り組み
- 地域社会に根差したマレーシアでのシマノの活動
 - 安全で楽しい自転車利用を目指して
 - 企業市民として
 - スポンサーシップ
 - 義援活動
- 社会活動報告書を読んで 26
- チームシマノ基本理念 27

企業価値の 向上を目指して

—— ころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「ころ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具はもとより、ウェアやシューズなど、それぞれの世界をより楽しく演出する製品をお届けすること。そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシングの素晴らしさをお伝えすることで、お客様により豊かなライフスタイルを実感していただきたいと考えています。

自転車部品事業

■ 飛躍的に進化した「XTR」

マウンテンバイクの最上級コンポーネンツが新次元の進化を遂げ「XTR M9000」シリーズとして誕生。レースやトレイルなど多様化したニーズにマッチした「Rider Tuned」コンセプトのもと、最高水準のテクノロジーを結集したリア11スピードドライブトレイン、軽い変速操作が可能となった新機構のサイドスイング・フロントディレイラー等を備え、至高のパフォーマンスをライダーに提供します。また革新的なマウンテンバイク用電動変速システムを実現した「XTR M9050」シリーズもラインアップ。ライダーの意思とダイレクトに繋がるコンポーネンツとして、マウンテンバイクの可能性を飛躍的に広げます。



■ 奮い立つ高性能「Shimano 105」

リア11スピード、剛性が高くなった4アームクランク、優れたブレーキコントロールを可能にした左右対称デュアルピボットブレーキなど、世界のトップレースで培われた最新テクノロジーを継承し、ロードレーシングコンポーネンツ「Shimano 105」がフルモデルチェンジしました。軽い操作性、ライディングに集中できる正確な変速等、自転車にまたがり操作した瞬間に確かな性能を実感していただけます。



■ iF賞・「DURA-ACE 9000/9070」「SLX M670」

iFデザイン賞はインダストリー・フォーラム・デザイン・ハノーファー (iF) がデザインに対する社会の関心を高めることを目的として1953年から主催、毎年全世界の工業製品等を対象に優れたデザインを選定しています。当社からはロードレーシングコンポーネンツ「DURA-ACE 9000/9070」シリーズとマウンテンバイクコンポーネンツ「SLX M670」シリーズがiFプロダクトデザイン賞2014を受賞しました。



釣具事業

■ グッドデザイン賞・バス用ルアーロッド「POISON ULTIMA」

シマノの技術とジャッカルノウハウを融合させたコラボレーション製品「ポイズン」シリーズ第三弾であるバスロッドの最上級機種「POISON ULTIMA」が公益財団法人 日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞を受賞しました。



■ iF賞・ベイトキャスティングリール「METANIUM」

滑らかな回転フィーリングと強度を両立するマイクロモジュールギア、爆発的な飛距離と容易なセッティングを可能にする遠心カブレーキシステム等の新機能を搭載したバス釣り用リール「METANIUM」がiFプロダクトデザイン賞2014を受賞しました。



■ EFTTEXで受賞

ベルギー・ブリュッセルにて開催された欧州の釣具の見本市「EFTTEX」(エフテックス)で、当社製品「Rarenium C14+」と「Lesath CX」が「Best New Product competition」の2つのカテゴリーで受賞しました。この賞は、専門家やジャーナリストがその年最も優れた製品を選出するもので、当社製品は8年連続の受賞となります。



ライフスタイル ギア事業

■ iF賞・サイクリングシューズ「SH-MT44」

SPDペダル対応のサイクリングシューズとして高付加価値の機能を搭載するとともに、スポーツシューズの優れた歩行性能と現代的なカジュアルシューズのスタイリッシュな外観を組み合わせた「SH-MT44」がiFプロダクトデザイン賞2014を受賞しました。





社員の健康増進

健康な心と体づくり

当社では、社員の「健康な心と体づくり」をめざし、さまざまな活動を展開しています。健康リスクマネジメントとして、健康診断結果をデータベース化し分析・活用。健康意識の向上のために、健康教室シマノスマートセミナーや健康啓発イベントを開催するなど、健康増進プログラムに取り組んでいます。

また健康増進のため、当社は長年にわたり自転車通勤を奨励。現在、本社勤務者数の約3分の1にあたる400名ほどが自転車通勤を行い、日常生活に適度な運動を取り入れています。健康診断においても当社社員は全国と比較して良好な結果が得られました。

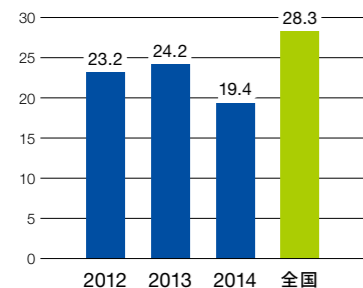
健康リスクマネジメント — 健康情報に関するデータ蓄積・活用

健康診断結果の「見える化」を図り、効果的な保健指導を展開。

社員の健康チェック

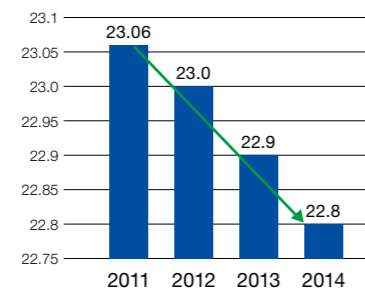
※ BMI (Body Mass Index)：体重と身長の関係から算出される肥満度を表す体格指数。

肥満者 (BMI^{*} ≥ 25) 割合



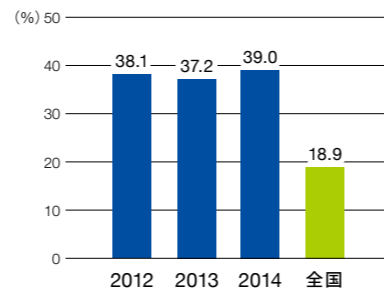
対象：■シマノ本社直雇用者20～50代男性 健診結果
2012年 965人
2013年 1,066人
2014年 861人 (4～12月)
■全国 2013年国民健康・栄養調査 / 厚生労働省

BMI^{*} 平均値



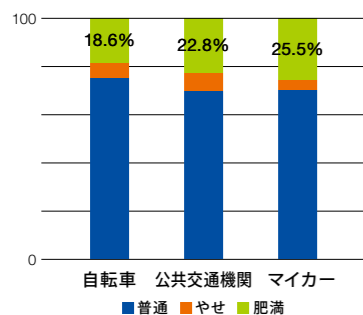
対象：■シマノ本社直雇用者 健診結果
2011年 1,064人
2012年 1,190人
2013年 1,346人
2014年 1,098人 (4～12月)

運動習慣



対象：■シマノ本社直雇用者20～50代男性 健診結果
2012年 820人
2013年 921人
2014年 809人
■全国 2013年国民健康・栄養調査 / 厚生労働省
運動習慣：1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者

通勤手段別 BMI^{*}



対象：通勤手段 (シマノ本社直雇用者全体)
自転車34.3% 公共交通機関26.1% マイカー39.6%

海外での健康増進活動

アメリカをはじめ世界各地のチームシマノが健康増進活動に取り組んでいます。



Fun Run (パールレイズミ USA)
月間行事として、社員と地元住民の方と3.1 mile走るランイベントを開催しています。



Bike to Work Day (パールレイズミ USA)
年間行事として、社員が積極的に自転車通勤に参加しています。



Lunch Ride (パールレイズミ USA)
昼休みに日常的に地元を走るランチライドを行っています。



Wellness Events (シマノアメリカン)
毎月社員は地元のインストラクターの指導により、様々な講習を受けることができます。

健康意識の向上 — 生活習慣病予防・有所見率改善に向けた取り組み

健康啓発イベント

昼休憩を利用し、啓発グッズ・資料を配布、展示や計測コーナーを通じて健康への関心を高め、必要に応じて産業医がアドバイスします。



2月 生活習慣病予防

5月 肺年齢チェック
世界禁煙デー

産業医のアドバイス

8月 体組成チェック
健診攻略ガイド

シマノスマートセミナー

2014年度は計4回健康教室を開催。「歩き方を変えるだけで、10歳若返る」「職場における腰痛予防」「心とからだのコリをほぐそう」「楽しくて元気が出る、栄養のおはなし」といったテーマで病院や大学から特別講師をお招きし、健康に関する知識を深めました。



シマノを支えるひとづくり

Global 新入社員研修

新たに加わった社員に対して、当社の歴史や企業理念を理解してもらう新入社員研修を行っています。チームシマノの一員として、全世界共通の理念のもと、考え、行動するために、講義に加え自転車実走や釣りの経験も含んだカリキュラムを行っています。



新入社員を対象にした研修 (シマノクンジャン：中国)

シマノアカデミー

'13年スタート

シマノアカデミーは全ヨーロッパの管理職や若手リーダー、新入社員を対象にした教育プログラムです。個人、チーム、またはビジネスの成長を促し、シマノの強みをさらに強化するものです。社員のキャリアアップに繋げる効果的なプログラムとして役立っています。



視野を広げる講習

'12年スタート

毎年シマノヨーロッパでは、「Inspirience[®] Workshop」と呼ばれる講習を社員に対して行っています。毎回、専門の講師を招待し、プレゼンテーションを行ってもらっています。2014年は、CSRやワークライフバランスに関することを学びました。



※InspirationとExperienceを合わせた造語

喜びの高揚

—— 人々に楽しみと喜びを提供する

自転車、釣りの楽しさを広げる。
当社が取り組んでいる「こころ躍る製品」は
人々の喜びの高揚を大前提とするものです。
そして製品とともに、より多くの人にその楽しさを伝え、
楽しむ機会を提供していくことも、
私たちは大切にしています。
楽しみのある場であると同時に人々の交流の場となっている
様々な自転車・釣りイベントの開催など、
私たちの活動は多岐に渡っています。
今回は2014年9月、シンガポールにオープンした
「SHIMANO Cycling World」をご紹介します。

SHIMANO cycling world

 '14年スタート



SHIMANO Cycling World (SCW) が、シンガポールのスポーツ複合施設SINGAPORE SPORTS HUB内に2014年9月25日オープンしました。


SCWは、自転車をテーマとした広さ約650㎡の体感型展示施設。人々が自転車により親しみを抱き、自然をより満喫できる新しいライフスタイルを実現できるよう、様々な提案をしています。

展示は、自転車の歴史、世界の自転車事情、製品の仕組みなどを知ることができる8つのコーナーで構成。自転車好きだけでなく、初心者にもなじみやすい展示によって、シンガポールから自転車文化を発信します。

SHIMANO Cycling Worldのロケーション

SHIMANO Cycling World はシンガポールの中心地にあるSINGAPORE SPORTS HUBに建設されました。この施設はサッカー場およそ50面分の敷地を誇り、約55,000人を収容する国際スタジアムからアリーナ、水泳競技センターなどのスポーツ競技場や図書館、ショッピングセンターを備えています。



 SINGAPORE SPORTS HUB



様々な競技を行うスタジアム



SCWのエントランス

東南アジアでの自転車文化の発展 シンガポールにおけるライフスタイルとしての 自転車の推進



Dream Machine

変速ギア、ホイール、チェーンなどの造形が織りなすサイクリングの世界観。モニターでは、美しく迫力ある世界のプロロードレースシーンを紹介します。



Cycling Singapore

シンガポール国内のサイクリング情報ディスプレイ。自転車販売店、パークコネクター（国内の公園を繋ぐ自転車道）、レンタサイクル、そしてイベントなどの情報を提供します。



Cycling Global

世界のサイクリング情報を紹介するモニターを設置。各地のサイクリングコースや、ツアーなどを検索できます。また自転車関連書籍が並び自由に閲覧できます。



Club House

自転車に関するコンシェルジュコーナー。自転車や自転車パーツなどを展示することで、その進化やものづくりへの情熱を感じていただけます。



Surround Stage

自転車に関する講演会、セミナー、特別展示など多用途に使用。ベンチシート、リフト式ステージ床、大画面スクリーンなどの設備が整っています。



自転車文化の発信基地

当社は、最初の海外製造拠点を1973年シンガポールに設立しました。そうした長い縁もあり、今回の「健康とライフスタイル」をテーマとした国家プロジェクトに対するオファーがEDB*1を通じてありました。我々としても自転車文化発信基地として、新しくできたSINGAPORE SPORTS HUBのロケーションは最適だと考え設置に至りました。これを機に、SCWを通じ、自転車をライフスタイルのひとつとして、シンガポールのみならず、東南アジアの人々に提案していきたいと考えています。

*1 Economic Development Board Singapore



シマノ本社 取締役
経営企画部 部長
松井 浩

地域に貢献しながらシマノも発展

私たちの目的は地域における自転車文化発展への貢献にあります。シンガポールにSCWを設立することにより、消費者との多目的なコミュニケーションがとれることを望んでいます。シンガポールは、最新のインフラとサービスに満ちた近代都市の中に人と文化が溶け合っている場所です。SCWは、地域に貢献しながら当社も発展していける拠点となるに違いないと考えています。



SHIMANO SINGAPORE MCS*2 BIKE
Assistant Director
Eugene Koh

*2 Marketing & Customer Service

Cycle Cassette

自転車の進化、変遷を伝えるコーナー。より興味をもってご覧いただけるように、実際の自転車の展示によって、それぞれの時代の自転車のエピソードや歴史的背景なども紹介しています。



The Forge

シマノの最新テクノロジーや、ものづくりへの想いを体験するコーナー。最新機能を体感でき、また映像を通して自転車の仕組みを学ぶことができます。



History

自転車とシマノの歴史を伝えます。歴史パネルでは、スライド式モニターを操作することで、10年毎に詳細な情報がポップアップし、その時代の自転車と当社製品をご覧いただけます。



LIFE CREATION SPACE OVE (オーブ)

🇯🇵 '06年スタート

OVEは、新しい自転車文化の発信基地としての活動をしています。行き先を決めて走るのではなく、ちょっと目線を変えてその道のりを愉しむ。そんな散歩感覚で、気ままに自転車を走らせる「OVE散歩」をはじめ、イベントやライブラリーを通じ、ゆったりと豊かに自転車に乗っていただくための様々なサイクルスタイルの提案を行っています。



OVE 南青山

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線
「表参道」駅または
「外苑前」駅から徒歩8分
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8
KDXレジデンス南青山1F
Phone：03-5785-0403



OVE 中之島 '12年スタート

アクセス：地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅・
京阪中之島線「渡辺橋」駅から直結
または地下鉄御堂筋線・
京阪本線「淀屋橋」駅より西へ徒歩5分
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-18
中之島フェスティバルタワー フェスティバルプラザ1F
Phone：06-6223-2626

自転車博物館サイクルセンター

🇯🇵 '92年スタート

本社のある堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター（運営：公益財団法人シマノ・サイクル開発センター）。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ（レプリカ）からオリンピック出場選手が使用した自転車まで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種イベントや講習など、様々な活動を行っています。



アクセス：JR阪和線「百舌鳥」駅から徒歩10分
〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-2 Phone：072-243-3196

フィッシング・カフェ プロジェクト&シマノTV

🇯🇵 '00年スタート

釣り人が気ままに交流し、新しい釣り文化を創造していく「フィッシング・カフェ プロジェクト」。年3回発行される雑誌と、スカパーパーフェクTV・BS釣りビジョンで放送されるテレビ番組、最新情報をお届けするウェブサイトを通じて、釣りをめぐる様々な話題や情報を発信しています。

2007年からはウェブコンテンツとして24時間365日楽しめる、世界規模のフィッシングチャンネル「シマノTV」を開始。充実した内容で、ビギナーからベテランまでお楽しみいただけます。



フィッシングチャンネル「シマノTV」
<http://tv.shimano.co.jp/>



ジャパンカップ30周年

🇯🇵 '84年スタート

皆様にご愛顧およびご支援いただき、シマノジャパンカップは2014年で記念すべき30周年の節目を迎えました。長期的視点で釣り文化の創造に取り組んできたことで、生涯を通して楽しむことのできるスポーツとして普及し、多くの釣り愛好者が育っています。これからも釣り文化のさらなる発展を願い、活動をつづけてまいります。

その他の活動

イベントの主催・協賛

世界各地で自転車や釣りのイベントを開催し、また協賛しています。日本をはじめとするアジア各地や、新興国ブラジルにおいても自転車や釣りの楽しみ方を提供し、除々に広がりを見せています。

■ 自転車イベント (主催/協賛) 🚲

- 🇺🇸 (アメリカ) '13年スタート
シーオッタークラシック①
- 🇧🇷 (ブラジル) '10年スタート
シマノ・フェスト2014⑥
(ブラジル/アルゼンチン)
- 🇨🇳 (中国) '11年スタート
SHIMANO Bikers Festival (深圳)②
約1,020名が参加
- 🇨🇳 (中国) '07年スタート
SHIMANO Bikers Festival (北京)③
約1,070名が参加
- 🇯🇵 (日本) '84年スタート
シマノ鈴鹿ロードレース⑦
- 🇯🇵 (日本) '91年スタート
シマノバイカーズフェスティバル⑧
- 🇯🇵 (日本) '10年スタート
Shop-in-shop
レーシング (綿陽)④
約660名が参加
- 🇨🇳 (中国) '10年スタート
ジャイアント・
シマノカップレース (成都)⑤
約270名が参加
- 🇺🇸 (アメリカ) '12年スタート
CRONUS cup Mountain race
約320名が参加



テクニカルサポートの派遣



トップレベルのプロレースだけでなく、幅広いサイクルスポーツイベントにサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。



■ 釣りイベント (主催) 🎣

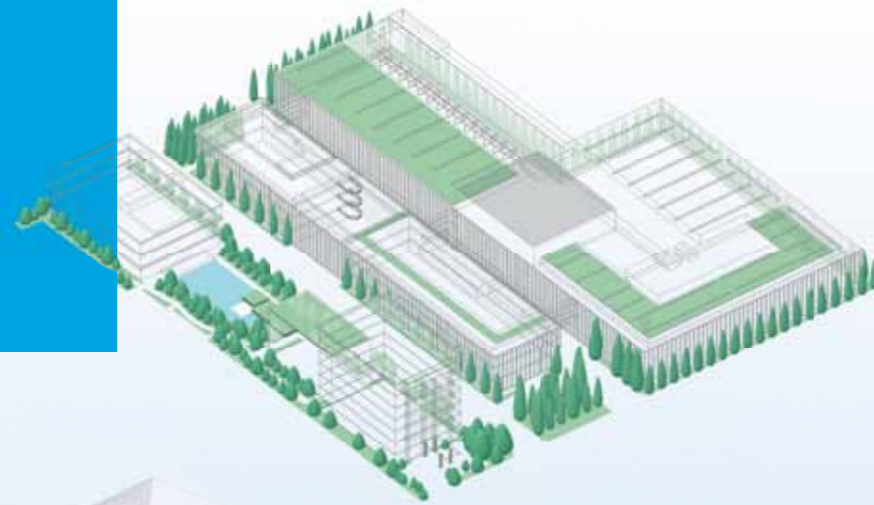
- 🇺🇸 (アメリカ) '14年スタート
アーバイン湖トラウトトーナメント⑨
- 🇻🇳 (ベトナム)
Shimano Can Tho Fishing Competition⑫
- 🇨🇳 (中国) '02年スタート
シマノ鱗海カップ (香港)
- 🇮🇩 (インドネシア)
Pond FT⑩
- 🇲🇾 (マレーシア)
Shimano Syok Pancing Fishing Competition⑬
- 🇰🇷 (韓国)
韓国トラウト大会⑪
- 🇯🇵 (日本) '84年スタート
シマノジャパンカップ



利用環境の改善と保全

—— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

アウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドである地球環境を保全するために、たゆまぬ努力を続けることは、当社の基本的な命題です。製品をつくる過程において環境負荷を抑えるため、技術改良・革新に日々取り組むとともに、フィールドの清掃や環境改善活動へも積極的に参加しています。



環境を考えた新工場

当社は2011年度より本社工場の建て替え工事を行ってきました。2013年、新工場となるSakai Intelligent Plant (SIP)、世界のチームシマノ工場の情報収集するManufacturing Technology Center (MTC) が完成、2014年秋には本社厚生棟の工事も完了しました。

SIP、MTC、厚生棟の建て替えに際し、積極的に省エネを推進し、生産設備や建物付帯設備のエネルギー使用の効率化に取り組んでいます。また、建物の周囲や屋上を緑化、一部に公開空地を設けるなど、周辺環境を考えた新工場を実現しています。さらに、エネルギー消費の見える化を図るとともに、省エネ活動を効果的に推進させるために「省エネ推進部会」を設置、継続的な省エネ活動に取り組んでいます。これらの活動によって当社の平成25年度温室効果ガス削減実績としては、原単位ベースで削減率18.5%（平成24年度比）を達成。大阪府が毎年表彰する地球温暖化防止に貢献した事業者として、「平成26年度おおさかストップ温暖化賞」の温暖化対策部門で大阪府知事賞を受賞いたしました。



〈主な対策〉

■ 空気圧縮機の高効率化： 年間CO₂削減量 96トン

- ・インバーター機の採用による電気使用量削減
- ・台数制御^{*}の採用
- ・分散配置から集中配置による台数削減
- ・ループ配管導入による空気圧損の抑制

^{*} 運転台数を負荷に応じてコントロールすること

■ ボイラーの高効率化： 年間CO₂削減量 317トン

- ・高効率ボイラーの採用に伴い、台数制御を実施
- ・分散配置から集中配置による台数削減
- ・蒸気ドレン回収によるガス使用量削減

■ 送配電ロスの低減： 年間CO₂削減量 23トン

- 工場内の高圧配電系統電圧を3300Vから6600Vに昇圧
- ・変圧器のロス低減
- ・送配電線のロス低減

■ 200V電動機（モーター）を440V電動機に交換： 年間CO₂削減量 21トン

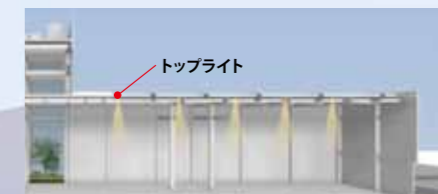
- ・440V電動機の採用による電動機効率改善と配電ロスの低減

■ 工業用水設備の改善（送水設備のインバーター化）： 年間CO₂削減量 102トン

- ・送水関係ポンプのインバーター化による効率改善
- ・送水配管系統の集約化によるポンプ台数の削減（38台⇒7台）
- ・冷却水の循環方式の採用による使用水量の削減

■ 工場エリアの照明設備改善： 年間CO₂削減量 71トン

- ・高効率照明器具の採用（水銀灯400W⇒高効率器具240W）
- ・LED照明器具の採用
- ・自然採光の採用（集光装置の採用、トップライトの採用）
- ・調光装置の採用
- ・窓側照明の消灯
- ・適正照度確保による照明間引き
- ・共用部照明（トイレ、階段、EVホール等）の人のセンサーの採用
- ・iPadを採用した中央監視スケジュール運転の採用



■ 工場エリアの空調設備改善： 年間CO₂削減量 756トン

- ・高効率空調設備の導入
- ・免震層を利用し地中熱を取り入れる外気導入方式を採用
- ・屋根面の負圧を利用した自然換気を採用した空調負荷の低減の導入

■ 熱処理炉の高効率化： 年間CO₂削減量 811トン

- ・燃料転換（ガス⇒電気）によるエネルギー使用効率の向上
- ・ガス浸炭炉を真空浸炭炉に更新
- ・高断熱材料の採用

■ ファンリティーサポートシステム採用による
空気調和設備、照明設備等の運用改善：
年間CO₂削減量 8トン

- ・空調、照明のスケジュール運転
- ・空調温度設定の適正化運用（体感温度制御の導入）
- ・不要照明の遠隔消灯
- ・ブラインド制御の自動化
- ・デマンド監視による自動デマンド制御の採用
- ・各フロア別のエネルギー使用データの見える化

■ エネルギー管理システムの導入による見える化

- ・工場全体/生産部門別のエネルギーデータの見える化
- ・建築付帯/生産設備別のエネルギーデータの見える化

■ 新設建物への省エネ対策の積極的導入

- ・屋上緑化の採用
- ・高断熱熱線反射ガラスの採用
- ・床、壁、屋根等のペリメーター（外面）の高断熱化を採用

■ 省エネ推進委員会の設置による活動の推進

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者をトップとする
省エネ推進委員会による活動の推進

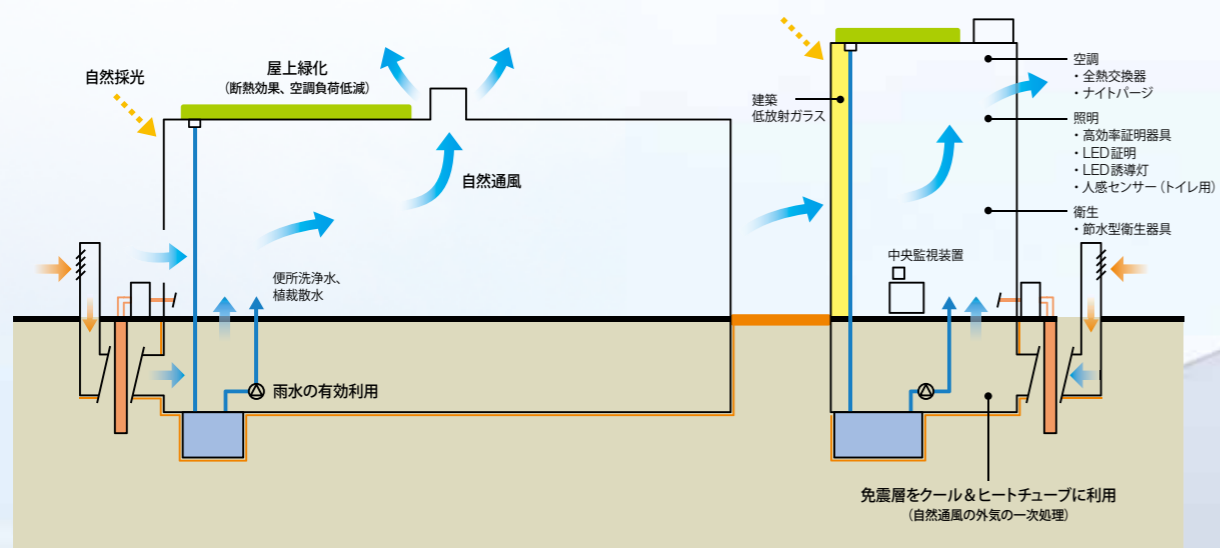
- ・全社および生産部門別エネルギー使用状況の定期的な報告
- ・省エネ改善事例の発表
- ・省エネに関する意識啓蒙活動

社員のための快適環境

社員が働く環境も大切にしています。新工場の建設にともない、社員が集う厚生棟Team Shimano Square (TSS) が完成しました。自転車通勤者のために約550台が駐輪できる駐輪場を完備しているをはじめ、ゆったりとした食堂や浴室があり、中庭は社員が憩うことのできる快適空間となっています。

近隣地区に配慮した工場

敷地内や屋上を可能な限り緑化し、環境への負荷を軽減するとともに、製造設備の稼働による騒音をなくし、工場の外周にも植栽を施すなど近隣地区との共存を図っています。



シマノグリーンプラン

Global '04年スタート

当社では、環境負荷の低い製品づくりを行うための指針として「シマノグリーンプラン（以下SGP）」を策定し、取引先様と協働してその順守に取り組んでいます。

■ 新たな法規制への対応

SGPは、当社製品を構成する原材料・部品・製品に含まれる化学物質の規制値を明確にし、取引先様に周知徹底することで、より環境負荷の少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。年々厳しくなる法規制に加え顧客や市場の要求を受け、2014年度は2回の改訂を行いました。

■ リスクに応じた活動

SGPの活動期間は10年を超え、順守性は目に見えて向上しました。同時に、製品含有化学物質管理上、リスクが高く重点的に管理する必要のある材料・部品が明確になってきました。そこで2014年はアパレル・用品関連のSGP理解をさらに容易にするための活動を開始。

アパレル・用品関連製品の具体的な順守確認方法や、過去の不適合事例からの注意点を説明した「シマノグリーンプランガイド」を発行して取引先様へ提供し、説明会を行いました。また、含有するリスクのある物質を特定し、取引先様が材料・部品毎に順守性を確認するための「SGP確認シート」を導入しました。

このように、ただ基準の順守を要請するだけでなく、必要な情報を相互に提供する協力関係を通じて、サプライチェーン全体で環境負荷低減に向けた取り組みを行っています。



取引先様対象の技術説明

当社のアパレル製品

■ ロードマップ

ここ数年間は順守性を向上させシマノ製品の信頼性を高めるための活動へと発展させてきました。今後はさらに上のステージを目指し、製品の付加価値ならびに企業価値を高めるために、SGPコミッティを中心としたグローバルな活動を推進しながら今まで以上に情報共有を進めることでよりよい対応を展開、ともに社会に貢献する良きパートナーとして取引先様と一体となってお客様に信頼される製品づくりを推し進めてまいります。

シマノグリーンプラン ロードマップ

SGP#4,5	SGP#6	SGP#7	SGP#8
SGPというくみの定着 法規制の適合性 [企業活動における基本的活動]	SGPの有効性 順守性の向上 [信頼性の向上]	付加価値の創造 SGPによる製品・サービス [企業価値を高める積極的活動]	
Stage1	Stage2	Stage3	
(主な活動) SGPの作成配布 誓約書回収 法規制による改訂 セルフチェックシート 初品による検査	(主な活動) セルフチェックシート改善 SGP取引先評価 取引先監査 NC発生からの順守性改善 SGP-WEBによる文書配布	(主な活動) 法規制対応の効率化 情報コミュニケーションの強化 市場要求への優位的対応	
SGPコミッティを中心としたグローバルな組織的活動			

身近な環境に対する取り組み

アースデイ活動 '12年スタート

4月のアースデイ（地球の日）を記念し、Innovative Textile（アメリカ）の社員が会社近くの川辺を約1kmにわたり、清掃活動を行いました。20名以上が参加し、およそ158kgのごみを拾いました。



ミリオンツリープロジェクト '09年スタート

シマノクンシャン（中国）、シマノテンシン（中国）の社員が、2009年以来、モンゴル砂漠地帯に100万本の木を植える「ミリオンツリープロジェクト」に参加しています。2014年はシマノとして2,000本の木を寄贈。若木の生長を願い、積極的に育成作業に参加しています。



環境教育への協力 '06年スタート

本社所在地である大阪府堺市の小学校に当社の社員が訪問し、環境教育のサポートを行っています。2014年は、2月17日に石津川ヨシによるハガキの紙漉き授業を行いました。水質改善のために、児童自らが石津川に植えて育てたヨシを使っています。このような活動を通して、幼少期からの環境教育をサポートしています。



植林活動 '11年スタート

シマノコンポーネンツマレーシアの社員が、ペカン・ナナスに約120本の木を植えました。



環境負荷低減への取り組み

騒音監視 '99年スタート

シマノクンシャン（中国）工場周辺の住宅地域における騒音による影響を抑え、さらに職場環境の向上を目指すために、工場内の騒音を監視するシステムを構築しています。



水資源の効率的な利用 '13年スタート

シマノシンガポールは、2014年9月25日にシンガポール公益事業庁より「水効率の良い建物（Water Efficient Building）」として「シルバー認証」を取得しました。



エネルギー保全活動 '14年スタート

シマノシンガポールは、環境保護を目的としてエネルギー保全に取り組み、ISO50001に基づくエネルギーマネジメントシステムを導入。持続可能性を追求した活動を行っています。



省エネ対策

下関工場では照明器具のLED化やワット数変更、熱処理炉の断熱コーティング等、さらなる改善策の実施により、年間でCO₂排出量を計14.3トン削減。電力使用量を計14,174kWh（原油換算では6.2kℓ）の削減を達成しました。



信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として
参加し協働する

地域社会とのコミュニケーションを密にし、
企業市民として共存・共栄を図ることは、
当社の理想とする企業姿勢です。
日本はもとより、世界各地に拠点を置く
地域社会の一員として、
地域と一体となって取り組める活動を
積極的に行っています。



地域社会に根差した マレーシアでのシマノの活動



マレーシア南部ジョホール市ポンティアンにあるシマノコンポーネンツマレーシア。1999年地元病院に献血の協力をしたのを皮切りに、植林活動など企業市民として地道な活動を続けてきました。とくに、子供たちの健全な未来のために、環境教育のサポートやぬり絵コンクールを通じて、教育支援活動に力を注いできました。

2006年

シマノシンガポール、シマノバタムと共同で、バタム島の孤児院に食料・衣類・学用品と自転車を寄贈。また、孤児たちがより快適に暮らせるよう、古くなっていった孤児院のトイレや浴室などの改装も行ないました。



2010年

幼少の頃から環境問題に対して関心を持ってもらうため、7つの小学校を訪問し、環境教育のサポートや植林活動を行いました。合計2,084名の児童が参加しました。



2011年

4月から6月にかけて、ジョホール市ポンティアンにある8つの小学校で、7歳から12歳の子供たちを対象としたグリーンキャンペーンを実施しました。



2012年

ジョホール市ポンティアンの小学校でグリーンキャンペーンを実施。合計で8校およそ2,400名の児童に対して、植物に関するレクチャーやスケッチの授業を行いました。



2013年

マレーシアのポンティアン地区ペカン・ナナスにある小学校で、講話やぬり絵大会など様々な活動を実施。参加児童の総数は1,133名になりました。



SHIMANO COMPONENTS (MALAYSIA) SDN.BHD.

児童の良い生活習慣をサポート

2014年4月、シマノコンポーネンツマレーシアでは社会活動として、Educational Talkという教育プログラムを実施しました。この活動は2010年より継続し、2014年はペカン・ナナス、ポンティアン地区の6つの小学校で行いました。

プログラムの目的は、児童が陥りやすい悪い習慣を知ってもらい、良い習慣を身につけてもらおうというものです。

- ・時間の使い方
- ・児童それぞれの衛生管理
- ・テレビ / コンピュータの使い方

こうしたテーマのもと、わかりやすく講話。ぬり絵のコンペやクイズセッションなども同時に行い、楽しく有意義な一日を送ってもらいました。

当社の社員20名が協力、2014年の児童の参加総数は1,685名となりました。



プログラムの終わりには、お菓子などのお土産を配ります。



ぬり絵コンペで集中する児童たち



クイズセッション



安全で楽しい自転車利用を目指して

サイクリングイベントを支援 '14年スタート

シマノ台湾は国際自転車レース「ツール・ド・台湾」の期間中に行われた、子供たちを対象にしたサイクリングイベントを支援しました。

モビリティ会議を開催 '14年スタート

シマノ・フェスト期間中にシマノラテンアメリカはモビリティ会議を開催。完成車メーカー、自転車販売店、政治家、オピニオンリーダー、ジャーナリスト、一般市民が関わり、ソロカーバ・プロトコルと呼ばれる文書に対する考えや提案を発表する場を設けました。

環境保護のための自転車ツアーを支援 '11年スタート

シマノラテンアメリカの社員が南米最大の都市サンパウロを流れるピニエイロス川の汚染浄化のための自転車ツアーを呼びかけました。

交通安全に関する講話を開催 '14年スタート

コスタリカのおサ半島のパルマノルテにある技術専門学校生約600名を対象に、交通安全とセキュリティ対策に関する講話を行いました。

子供たちに路上の危険性を注意喚起 '14年スタート

シマノチェコは路上で起こりえる危険な出来事を知らせることを目的として、保育所と幼稚園の子供たちが参加する絵画コンテストに協力しました。受賞者には賞品が贈呈され、最優秀賞の作品は会社のショールームに展示されました。

子供たちへの自転車交通安全教育を支援 '14年スタート

シマノチェコは子供たちが安全な自転車の乗り方を理解し、交通規則や応急処置を学ぶことを目的とした運輸省安全課主催のイベントを支援。優秀な成績を収めた子供たちに賞を授与するため寄付を行いました。

高齢者の自転車旅行を支援 '14年スタート

高齢者の移動を支援し、ともに楽しいひとときを過ごすことを目的に、地元カルヴィナ周辺のサイクリングツアーに協力しました。高齢者グループ約90名が参加。旅の締めくくりにはシマノチェコの会社紹介と工場見学を行い、昼食を提供しました。



学生たちの自転車ライドを支援

'11年スタート

シマノシンガポールは学校およびブングル公園のボランティア組織とともに、大規模な自転車ライドを開催。生徒たちに自転車の安全な利用とサイクリングを通して自然を楽しむことを奨励しました。また若い世代における自転車文化を育成するため、学校の教師や指導者を対象に自転車トレーナー養成プログラムを主催。これにより学校で自転車のメンテナンスに関する講義を実施できるようになりました。



交通安全公園への協力

'12年スタート

シマノシンガポールは子供たちがトラブルなく自転車に乗れるように、マウンテンバイク、キッズバイクを含め、合計160台の自転車修理を実施。また交通安全公園でより多くの子供たちが楽しめるように、4歳から9歳児対象のキッズバイクを60台寄付しました。



国境なき医師団アルゼンチン支部を支援

'14年スタート

シマノラテンアメリカは、人道医療支援を行うNGO国境なき医師団 (MSF) アルゼンチン支部と、「Rio Pinto」「シマノ・フェスト」「Trasmontaña」のような大きなイベントへの参加とMSFのミッション遂行への協力に関するパートナーシップ協定を締結。アルゼンチンのコルドバで開催されたRio Pintoレースで、MSFはリーフレットの配布、活動の解説、ビデオの上映を行いました。

カーフリーデーの朝食を提供

'14年スタート

ブエノスアイレスの行政に輸送面と食品認証機関における協力を得て、1日マイカーを利用しないカーフリーデーに朝食を提供しました。

スポンサーシップ

パラサイクリングチームをスポンサー支援

'14年スタート

シマノ・パールイズミはUCI上位のドイツのパラサイクリングチームの2015年シーズン後援を決定。チームに所属する30名ほどの選手にアパレル製品を提供する予定です。



身体障がい者支援財団への支援

'14年スタート

シマノオーストラリアは、事故による下半身不随を克服し再びトライアスロン選手に返り咲いたジョン・マククリーンが所属するチームのスポンサーを務めました。史上初の車椅子アスリートで、夢の実現を目指す障がい児とその家族を支援する「ジョン・マククリーン財団」の設立者として知られる人物であり、大会後このチームの活躍はテレビ番組でも大々的に報道され注目を浴びました。



企業市民として

マラソン大会を支援

'14年スタート

感謝祭の日に地元ルイビルで行われたマラソン大会「ターキー・トロット」でパールイズミUSAはメインスポンサーを務め、社員とその家族はボランティア活動を行いました。



子育て家庭支援センターに食料と衣服を提供

'14年スタート

パールイズミUSAは地元の非営利団体である子育て家庭支援センター「シスターカルメンコミュニティセンター」の活動を支援し、家庭にある食料と衣類を集めて届けました。



「フードドライブ」を実施

'14年スタート

シマノアメリカは地域の慈善団体とともに、家庭にある食料（缶詰などの保存食品）を持ち寄り、食事に困っている人たちに提供する「フードドライブ」を実施。200を超える食料品を集め、寄付しました。



養老院への訪問

'09年スタート

シマノクンジャンの社員が年長者への敬意を表し、春節に養老院を訪問。重陽節には昆山ボランティア協会とともに、地域コミュニティで過ごす115名に贈り物を届けました。



ハンドバイクプロジェクトを支援

'14年スタート

シマノラテンアメリカは自転車部品を提供し技術面で協力することで、手づくり自転車を製作するプロジェクトを支援しました。



地元企業の雇用を促進

'01年スタート

シマノヨーロッパは長年にわたって地元オランダのヌンスピートにある地元企業とパートナーとして密接に連携、協力しています。地元企業と共に、安全で信頼できる労働環境における管理業務（庭のメンテナンス、昼食の提供、製品の再包装等）の雇用を提供しました。



義援活動

大学の奨学金プログラムを支援

'14年スタート

シマノテンシンは、優れた学業成績および活発な社会活動への参加など、素質と能力において優秀な学生10名を選抜し、一人当たり5,000人民元（約9万7千円相当）を支給しました。



入院児童の訪問支援への寄付

'14年スタート

シマノベネルクスは、30以上のサイクリングイベントで無料の技術サポートを行い、寄付金5,000ユーロ（約73万5千円相当）を調達。オランダにあるクリニクラウン財団に寄付することで、小児医療施設で過ごす子供たちの笑顔を育む活動を支援しました。



東日本復興支援サイクリングに協力

'12年スタート

一般社団法人自転車協会主催の東日本の復興支援を目的としたサイクリング「CYCLE AID JAPAN 2014」に、当社から約50名の社員が参加、またテクニカルサポートとして協力しました。参加費の一部が義援金に役立てられます。



社会活動報告書を読んで

シマノの2014年連結業績は、大幅な伸びを示した。世界の経済環境は全国各地で異なるが、早くから製造・販売の拠点を欧米やアジア、豪州、南米などに置き、それらが「Team Shimano」として協力し合った成果であり、グローバル企業の強みが発揮されたと思われる。今回の社会活動報告書は本業での業績向上だけでなく、活動事例が市場や社会からの要請に、よりよく応えたことを示している。



近年CSR（企業の社会的責任）からCSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）が経営のキーワードとして広く知られるようになった。これは米国のハーバード大学のマイケルE. ポーター教授が2011年、従来の競争戦略論を超えて、企業の目的は利益だけではなくCSVであると発表したものである。CSRはビジネス経営の営利活動とは別ものとされがちだったが、CSVは本業での経済活動と社会活動を一体化して進めていく考え方である。今期のシマノはCSVをパフォーマンスとしたと言えるのではないか。

報告書の内容は4部構成を踏襲しながら、各ジャンルから1つのテーマをフォーカスして伝えている。

事業の基本である「こころ躍る製品」として、自転車部品、釣具、ライフスタイル ギアいずれの事業部門でも絶えざる進化を見ることができる。ユーザー目線での機能、品質の改善だけでなく、たとえばマウンテンバイクの軽い変速操作や電動変速システムなど、遠出のサイクリングをためらっていた人が気軽に挑戦できる機会をつくった。システムコンポやルアーロード、キャストイングリール、サイクリング・シューズでのiFデザインの受賞も、感性と技術の融合による魅力づくりである。

社員の健康増進を健康リスクマネジメントとして実践した。健康診断結果のデータベース化、健康セミナー、健康啓発イベントなどを開催し、社員の自転車通勤率は本社勤務で3分の1、健康診断に良好な結果が出ているのもうなずける。

東南アジアでの自転車文化の発信基地として、シンガポールのスポーツ複合施設「SINGAPORE SPORTS HUB」内に「SHIMANO Cycling World」を9月にオープンさせた。ドリーム・マシン、自転車販売店などを示す情報ディスプレイなどいくつかのコーナーを設けた。発信だけでなく交流拠点としてのシンガポールでの設立は適切であり、ユーザー・ファンづくりにも貢献し、「歓びの高揚」を図ることができるだろう。

アウトドア・スポーツを楽しむための地球環境の保全はシマノの基本命題であり、「利用環境の改善と保全」として、2011年から堺市の本社工場の建て替え工事を開始、新工場（Sakai Intelligent Plant）、チームシマノ工場の情報収集拠点（Manufacturing Technology Center）、2014年秋に本社厚生棟も完成させた。「省エネ推進部会」を設けて推進したことがプラスの結果となった。大阪府から「平成26年度おおさかストップ温暖化賞」の温暖化対策部門で府知事賞を受賞、エコと省エネの両面で高く評価できるのではないかと。シマノグリーンプランについてガイドダンスを発行して取引先に提供、単に順守の要請だけでなく、確認シートで相互に協力した点は実効性をあげる現場の取り組みとして効果的である。できれば防災についての設備や装置などが示されているとさらに良かった。

「信頼の構築」では、マレーシアのジョホール市にあるシマノコンポーネンツマレーシアの活動が目される。献血、植林、子供達への環境教育の支援、特に児童向けに時間の使い方、衛生管理、テレビやPCの使い方を良い習慣とするためのプログラム支援は身近な生活の基本常識の修得の上で意義深い。他にもイベントのスポンサーシップや義援活動など、企業市民活動の幅の広さはグローバル社会での共有価値の創造を感じさせる。

人の健康と自然環境への関心の高まりの中で、シマノがその課題に対し本業を通して多様な試みをグローバルに実行し、価値創造に努めていることを知ることができた。近年、欧米の投資家は財務と非財務情報を統合した報告書で投資判断をする動きがある。評価基準は経済的価値と社会的価値の統合による共有価値の創造である。シマノとしてはこれまで持続してきた革新的現場力と社会課題解決力を統合して、CSVのコーポレート・ストーリーをどのように示すことができるかが今後の課題となり、期待されるところと言えよう。

千葉商科大学/大学院教授 一般社団法人 日本経営管理学会代表理事・副会長 藤江 俊彦

チームシマノ基本理念

本当によいものを世界の人々にお届けしたい——。
それは創業者から受け継がれてきた私たちシマノの基本的な願いです。
そして世界各国のスタッフから成るチームシマノは、
共通の理念のもと、共通の目的と共通のプロセスで活動を展開しています。

会社の使命

人と自然のふれあいの中で、
新しい価値を創造し、
健康とよろこびに貢献する。

【経営の方針】

- お客様に信頼され、満足していただけるサービスと製品を提供する。
- 企業価値を高め、開かれた経営を約束する。
- 達成感と、よろこびを分かち合える、
公正でいきいきとした職場づくりに努める。
- 社会の一員として環境を大切に、共に繁栄することを目指す。

【チームシマノの行動指針】

- 豊かな創造性をはぐくみ、たえず自己を啓発する。
- つねに技術の向上に努め、夢の実現に挑戦する。
- 大きく発想し、機敏な行動で着実に実行する。

SHIMANO
www.shimano.com

株式会社シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地

広報部 広報課

Phone: 072-223-3957

Fax : 072-223-6045

2015年3月15日発行 ©2015 by SHIMANO INC. Printed in Japan XBC IDM K-026